

1. 2023 年ウダヤナ大学国際研究交流参加報告（日程：2023 年 8 月 2 日～8 月 12 日）

ウダヤナ大学医学部は、神戸女子大学と共催でウダヤナ大学デンパサール校舎 A.A.Made Djelantik 教室を主会場として、「医療・生活・地域をつなぐ生活支援の重要性」をテーマとするシンポジウムを開催しました。日本からは 5 名の研究者が参加し、それぞれの研究テーマを発表しました。

実施日時（現地時間）：2023 年 8 月 7 日（月）9：00～12：00

ウダヤナ大学医学部の医学学部長である Komang Januartha Putra Pinatih 医学博士の挨拶で始まり、オープニングの後、イベントは



Ns. プトゥ・アユ・エミー・サヴィトリ・カリ（S.Kep, MNS）が司会を務めました。このイベントの目的は、医療、生活、地域社会を支えるライフサポートの重要性について新たな知見を提供することです。Komang 医学部長は、「この活動を通して、学生や講師は日本とインドネシアの専門家や実務家から新しい知識や経験を得ることができる。そのため、学生や講師は、医療分野における最新の科学的

発展に対応するための準備と能力を身につけることが期待される。」と挨拶しました。

シンポジウムには副学長をはじめ多くのウダヤナ大学関係者が参加しました。ハイブリッド対応のため、ウダヤナ大学デンパサール校舎会場から日本への配信も同時に行われ、神戸女子大学健康福祉学部社会福祉学科からも現地開催と同時に 3 名参加しました。



私は、サイエンティフィック・セッションにおいて、4 番目に「ソーシ



シャルマインドとレジリエンス～河野哲也の境界の現象学を検証する～」をテーマに国際発表し、以下の credentials が授与されました。



2. 2023 年度さくらサイエンス研修プログラム（日程：2023 年 7 月 24 日～8 月 2 日）

ウダヤナ大学看護学科 3 回生の学生 3 名と教員 1 名が参加し国際交流を深めました。現在の医療・福祉の課題を確認し、日本の地域包括支援システムの機能と役割を学びました。



7 月 25 日（火）神戸女子大学ポートアイランドキャンパス C 館 201 に研究室にて、「日本型福祉」を学びました。学生たちは、いま日本が抱えている「閉じこもり・晩婚化・少子高齢化・8050 問題」等、日本の経済的発展と同時に生まれた家族の持つ機能の低下・地域社会の脆弱化に対する課題に対して大きな研究意欲を見せました。



7 月 26 日（水）日本の医療・福祉について講義を受け、さらに、社会保障・医療福祉・年金制度・介護保険の知識を学ぶことで、これから福祉が整備される自国に有益な知見を得ました。



7 月 26 日（水）神戸女子大学ポートアイランドキャンパス C 館 106 において、「事例に基づく支援の実際」について指導を受けました。



7 月 28 日（金）兵庫県「人と防災未来センター」において、震災を経験した神戸の世界に先駆けたリスクマネジメントの重要性を学びました。インドネシアの地震事例として、子守歌によるリスクマネジメントが語り伝えられていることを知り大変驚いていました。学ぶ面白さに期待を膨らませ生き生きとした表情を見せていました。

2023 年夏



3. Udayana 大学研究交流

2023 年 8 月 9 日 (水)

Udayana 大学学長表敬訪問

I Nyoman Gde Antara 学長



Udayana 大学前学長 Ketut Suastika



Kesehatan Bali (バリ工科保健大学)

I Gede Putu Darma Suyasa 学長



医学部長 コマン先生表敬訪問

Dr. dr. Komang Januartha Putra
Pinatih, M.Kes.Dean, Faculty of
Medicine, Udayana University
Denpasar, Bali, Indonesia